



おくたま 町議会だより

第 175 号
平成 27 年 11 月 5 日発行



編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

西多摩郡町村議会議長会議員親睦会

平成 27 年 9 月 30 日(水)

瑞穂町長岡コミュニティセンターにて、西多摩郡町村議会議員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的に、ニュースポーツ(ボッチャ、スポーツ吹き矢)と板締め染色を体験しました。



☆スポーツ吹き矢体験☆



☆板締め染色体験☆

常任委員会視察研修

平成 27 年 7 月 30 日(木)

《総務文教常任委員会》

町有地の有効活用を目的として、寄付物件を中心に現地視察を行いました。特に、棚沢にある施設を含む鳩ノ巣溪谷一帯は、町の景勝地のひとつであり、町の観光の目玉である「おくたまの風 はとのす荘」もこの 5 月にオープンしたこともあり、観光面での有効な利活用が望まれます。

《経済厚生常任委員会》

名坂線林道開設事業、大丹波線林道改良事業、越沢線林道開設事業の 3 路線の現場視察を行いました。生活道とはまた違った面での重要性を再認識することができました。



☆海沢寄付物件前にて☆



☆大丹波線林道付近にて☆

西多摩地区議長会議員研修会

平成 27 年 10 月 13 日(火)

瑞穂町町民会館にて「地方再生～変革時代

の議会の役割～」と題し、(株)ローカルファースト研究所 代表取締役 関 幸子 氏からご講演いただきました。三鷹市の事例をもとに地方版総合戦略等について学びました。

第3回定例町議会

第3回定例会は、9月8日から9月18日までの、会期11日間にわたり開催されました。

平成26年度決算認定

平成26年度の各会計決算は、本会議初日に提案され、延べ5日間にわたり行われた決算審査について、滝島勇一代表監査委員による審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く10名で構成する決算特別委員会に審査が付託されました。

9月15日、16日の2日間にわたり開会された決算特別委員会で、内容説明、質疑等が行われ、18日の本会議で採決の結果、次の全8会計決算とも全議員の賛成により認定されました。

○認定第1号

平成26年度一般会計歳入歳出決算

○認定第2号

平成26年度都民の森管理運営事業特別会計歳入歳出決算

○認定第3号

平成26年度山のふるさと村管理運営事業特別会計歳入歳出決算

○認定第4号

平成26年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○認定第5号

平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

○認定第6号

平成26年度介護保険特別会計歳入歳出決算

○認定第7号

平成26年度下水道事業特別会計歳入歳出決算

○認定第8号

平成26年度国民健康保険病院事業会計決算

決算審査報告（監査委員）

平成26年度の奥多摩町における全8会計の決算書類は、関係法令に準じて作成されており、関係帳簿及び会計伝票並びに証票類とも照合の結果、決算の計数に誤りはなく、預金残高とも符合し、基金の運用状況及び予算の執行も適正かつ正確であり、歳入、歳出とも妥当であったことを認める。

《平成26年度の奥多摩町における健全化判断比率算定書類及び資金不足比率算定書類に関する審査結果》

算定基礎事項を記載した書類と総括表とを照合の結果、計数等はすべて正しく、適正に書類が作成されていたものと認める。なお、実質公債費比率は、前年度を下回り、抑制することができたが、今後も継続して負担適正化に努める必要がある。

また、将来負担比率は、一部基金の取り崩しを行ったため、充当可能財源が減少し、プラスに転じた。

今後、下水道事業の将来負担

を考えると、引き続き堅実な財政運営がなされる必要がある。

決算特別委員会質疑

○一般会計

・公有財産データ整備業務委託の進捗状況

・幸せリーグ負担金の内容

・町税徴収員委託の実績

・災害時特別警報の準備状況

・庁用バスの利用状況

・棚沢地内寄付物件解体他工事の進捗状況

・森林セラピーホームページ

・クセス件数

・認知症サポーター養成講座の内容

内容

・特定健康診査等委託の内容

・母親学級事業、乳児家庭全戸

訪問事業の開催状況

・農地基本台帳システム整備委

託の内容

・登計トレイル清掃管理委託の

内容

・町道維持管理の今後

- ・総合賠償保険の内容
- ・松葉穴沢線道路新設工事の進捗状況
- ・農作物獣害防止対策事業の事例

- ・森林セラピー推進団体補助金の内容
- ・大多摩観光連盟広域観光振興支援負担金の内容
- ・青少年リーダーの育成方針
- ・中学校統合後の状況
- ・小中学生に対する防災教育の内容
- ・外国人教師委託の内容
- ・加藤旗駅伝大会に負担金を
- ・山葵田防護網、モノレール災害復旧事業の内容
- ・決算に対する評価
- ・河川利用の問題点

- 都民の森管理運営事業特別会計
- ・森の家等警備業務委託の内容
- ・登山道通行止の状況

- 山のふるさと村管理運営事業特別会計
- ・送迎バスの状況

その他の町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり可決、同意されました。

条 例

- 議案第65号
個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第66号
事務手数料条例等の一部を改正する条例
- 議案第67号
町営住宅使用条例の一部を改正する条例

報 告

- 報告第2号
平成26年度決算における奥多摩町健全化判断比率
- 報告第3号
平成26年度決算における奥多摩町資金不足比率

- 報告第4号
奥多摩町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

訴えの提起

- 議案第68号
訴えの提起について
(99カ年地上権抹消登記)

契 約

- 議案第69号
奥多摩処理区下水道管渠建設工事その36
- 議案第70号
奥多摩処理区下水道管渠建設工事その37
- 議案第71号
女夫橋補修工事

自治功労表彰

- 議案第72号
自治功労者の決定の同意
師岡 智氏(川井423番地)
小澤春義氏(水川863番地2)

補正予算

- 議案第73号
一般会計(第2号)
- 議案第74号
都民の森管理運営事業特別会計(第1号)
- 議案第75号
山のふるさと村管理運営事業特別会計(第1号)
- 議案第76号
国民健康保険特別会計(第1号)
- 議案第77号
後期高齢者医療特別会計(第1号)
- 議案第78号
介護保険特別会計(第1号)
- 議案第79号
下水道事業特別会計(第2号)
- 議案第80号
国民健康保険病院事業会計(第1号)
- 議案第81号
奥多摩町教育委員会委員の任

人 事

命の同意
石田充法氏（新任）
（小丹波519番地）

陳情審査

不採択

○陳情第1号
平和安全保障関連法案の廃案を求める意見書採択についての陳情

議員提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり可決されました。また、国に対し、地方税財源の拡充に関する意見書を提出しました。

○議員提出議案第1号

地方税財源の拡充に関する意見書

○議員提出議案第2号
町議会会議規則の一部を改正する規則

一般質問

平成27年9月議会では、11日の3日目に7名の議員が質問を行いました。（通告順）



石田芳英議員

「ふるさと納税」を推進し奥多摩町のPRと税収増加を

（答）我々町に暮らす住民がこの豊かな自然環境をはじめ、魅力ある生活、伝統文化、産業などを一生懸命守っており、少子化・若者の定住対策など特色あるまちづくり活動に頑張っているという姿勢を町外に向けて発信し、「奥多摩町に貢献したい」

あるいは「森林セラピー事業などを応援したい」というファンを獲得に努めていくことで、「ふるさと納税」の一層の推進を図っていく。

石田 ①平成20年度以来、今までの特典の状況や寄付額の状況について。
②今後の「ふるさと納税」の特典等の方針について。

町長 ①5千円以上の寄付をいただいた場合、「おくたま温泉もえぎの湯入場券10枚」と「奥多摩山里歩き絵図の全21巻」を贈呈している。また、寄付額の状況は、平成20年の制度発足以来の実績は、平成22、23年度は共に3件、9万円、24年度は4件、9万5千円、25年度は22件、15万5千円、26年度は44件、39万7千円と年々伸びてきている。
②町でも開始以来5年が経過していることから、現在の特典の見直しを検討し、町ならではの魅力的な返礼品を用意するとともに、ウェブ上にある全国

の自治体の特典を掲載している「ふるさと納税ポータルサイト」への登録、また紙ベースで発行している「ふるさと納税ガイドブック」にも記事を継続して掲載し、PRに努めていく。

《再質問》

石田 「ふるさと納税」の普及あるいは増額に貢献するということで、「わさぴー」の登場はにかに。

企画財政課長 町のホームページ上にある「ふるさと納税」のサイトに「わさぴー」を登場させ、親しみのある方法で、より一層の普及、宣伝に努めていく。
危険な空家等への固定資産税優遇措置の廃止について

（答）「特定空家等」が確認された場合には、地域の「安心・安全」を確保するとともに、全町をあげ、若者の定住化に向けて「空家」あるいは、その「敷地」の有効活用を推進していく。

石田 ①町における「危険な空家等」は現在どのくらいあるか。

②「危険な空家等」に対して、課税等も含め、今後どのように対応されるか。

石田 危険な空家等撤去後の土地の有効活用について。

少子化・若者定住化担当主幹 第一に所有者の意向を確認し、交渉の余地がある場合には、積極的に土地の確保に努め、町営住宅の整備や分譲地の販売、若者用空家バンクの登録などに活用していく。



高橋邦男議員

若者定住対策事業における「若者住宅建設」と「空家バンク」について

.....

②まずは、所有者等に連絡を取り、危険空家等の状況、状態を伝えるとともに、危険空家等に対する今後の改善方策に対する考えのほか、処分や活用等についての意向など、所有者等の主張を含めた事情の把握に努めていく。また、課税等については、指針「ガイドライン」に基づく措置を講じる。

《再質問》

(答) 第5期長期総合計画において、「若者の定住化対策」を最重要事業と位置付けており、若者が定住することで、「祭り」や「地域のコミュニティ」が活性化し、「消防団員の確保」もでき、「高齢者の見守り」や「安全・安心」にもつながっていくので、

引き続き、「定住化対策」と「少子化対策」を推進していく。

高橋 ①「若者定住促進ゾーン」における建設地域の考え方について。

②「定住サポーター制度」の方針と今後の取組みについて。

町長 ①JR5駅周辺については、若者定住促進のための用地の確保を目指しているところであり、それ以外の地域においても、空家の総合的な活用を推進し、町全体の活力の向上を目指していく。

②「定住サポーター制度」は、住民みなさんと行政が協働して「少子化・定住化対策」を推進するため、町の職員が各自自治会の状況を把握し、住民みなさんと連携した空家対策などができよう設置したもので、今後は、定住サポーターが、各自治会長をはじめ、地域の方々に聞き取り調査を行い、空家等の所有者に意向調査を実施する。その後、所有者に対して、直接交渉を行

い、空家等の活用を推進していく。

町の「奥多摩観光の振興」について

.....

(答) 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、更なる観光客の増加を図るため、今後とも「奥多摩観光の一層の振興」に努めていく。

高橋 ①都市部でのPR、営業活動の現状と予定について。

②「わさびー」による電車ホームでの「お出迎え」について。

③クイズ等による優秀者へのお土産品等の提供による観光サービスタについて。

④新たなお土産の開発について。
⑤日本一きれいなトイレに向けた清掃の質と量の向上について。

町長 ①「東京観光情報センター」に通年で総合パンフレットなどを配置している他、「ふるさと祭り東京」等大規模イベント

において、「PRブース」や「特産物販売ブース」などを設け活動を行っている。今後は、毎年行われているイベント等に加え、「町イチ！村イチ！2015」において、ブースを開設するとともに、東京国際フォーラムや有楽町駅前で他町村のキャラクターとともに「わさびー」が登場する予定となっている。

②奥多摩駅ホームにおいて、「わさびー」が観光客を出迎えた場合、乗降客の事故防止や安全確保の観点からも難しいとの回答を得ている。このようなことから、「セラピーウォーク」や「花火大会」の際には、駅前に登場し、来遊者の出迎えを行った。今後も「ふれあいまつり」など、町主催の各種イベントには積極的に登場させたいと考えている。

③現在、町では山里歩き絵図コース完歩者に賞品として、温泉券等を渡している。また、「多摩川イベントラリー」や、本年、町で開催する「日本鍾乳洞サミット」に加盟している9つの市町村共同で行うスタンプラリー

でも特産品等の賞品をプレゼントする。今後も、冬場の閑散期対策として、旅館・民宿等に対する「宿泊補助」を継続することと、「観光サービス」の充実を図っていく。

④町では、シカの有害鳥獣捕獲を実施し、シカ肉の活用を図っている。時期が限定されるが、オスジカからは角が取れるので、この角を使ったお土産品として、現在、「シカ角ストラップ」などの試作品が出来ている。今後、観光案内所などで試験販売を行い、好評であれば一般販売を開始したいと考えている。

⑤現在、20の団体等に委託している清掃業務を一元化するとともに、専従で清掃を行う「トイレ清掃のプロフェッショナル」を育成し、併せて回数の見直しを行うことにより、「清潔で気持ちよく使えるトイレ」を目指す。また、その業務を生業とすることで、雇用の創出と若者の定住化も図っていく。

《再質問》

高橋 交通機関との連携について。

観光産業課長 JR等とも連携をしているところだが、今後も様々な団体と意見交換をしたいと考えている。



杉村良一議員

学校でのいじめ対策について

・・・・

(答) 次世代を担う子どもたちが健やかに成長し、安心して学ぶことができる環境を整えるためには、いじめ撲滅に向けた社会全体の気運を高めるとともに、学校、家庭、地域、関係機関が一体となったいじめ撲滅に取り組む体制を確立していくことが重要であると考えている。

杉村 ①児童、生徒に対してどのような教育をしているか、また、先生方にはどのような指導

をしているか。

②カウンセラーの活動状況は。

③教育委員会と学校当局との意見交換はどのような形で行われているか。

教育長 ①各校ともに、担任から児童・生徒に対して、いじめは絶対にいけないこと、相手の気持ちを考えて行動すること、いじめを見たり知ったりしたときには先生に報告することなどを繰り返し教育している。教員に対しての指導としては、スクールカウンセラー等を講師とした校内研修を実施し、教員のいじめ防止についての意識を高め、日頃から児童・生徒一人ひとりの様子をしっかり観察して変化を見取り、管理職への報告・連絡・相談の徹底を指導している。

②児童・生徒への面接を実施し、人間関係の構築を図り、いじめ等の問題行動の把握及び解決に結び付けている。また、各学校に設置している「学校いじめ対策委員会」にも参加し、児童・

生徒に係る情報を共有し、組織的な対応の推進を図っている。

③校長会並びに副校長会、生活指導主任会において、気になる児童・生徒の情報を学校から報告させている。また、スクールカウンセラー等連絡会を開催し、それぞれが持っている児童・生徒の情報を報告し、対応を協議する場を設けている。

《再質問》

杉村 法律改正に伴う次期教育長任命の考え方。

町長 過去から現在の状況を考慮し、行政と教育委員会が一体となり、子育てをどのようにしていくかという視点で、今後、教育関係者と行政出身者のどちらが町にとって良いかという判断をしていく。



師岡伸公議員

空家対策特別措置法と奥多摩町の現状について

・・・・
 (答) 空家等の所有者に対して、活用方法を提案した「奥多摩町空家等促進事業交付金」と併せて、精力的に活用交渉を進め、「若者用空家バンク制度」など奥多摩独自の施策により、利活用できる空家等の確保を行い、定住対策・少子化対策の推進につなげていく。

師岡 ①空家特定のための実施計画は。

②固定資産税の優遇措置除外の今後への影響は。
 ③定住サポーター制度の活用状況、現況は。

町長 ①今後、定住サポーターによる調査結果を基に、適切に管理されていない危険な空家等の把握ができることから、確認された空家が特定空家等に該当するか、否か、専門家による判断を含めて、空家等対策計画の作成等を検討していく。

②全ての空家に該当することでなく、「ガイドライン」を参考に、町内関係各部署と内部職員により、空家対策特別措置法に基づき、固定資産税等の住宅用地の特例に対し検証し、公平・公正な考え方で対応していく。

また、雑木や雑草に吞み込まれている住宅や環境衛生上近隣に迷惑がかかる空家等については、毅然とした考えで対処していく。

③定住サポーターのとりまとめの調査集計表を、再度、各自治会長に確認作業をお願いし、漏れている空家、新規の空家、解体・撤去された空家などの追記、修正作業を行っている。この確認作業終了後、集計内容を基に、空家等の所有者に対し、今後の使用予定を問う、アンケートによる意向調査を実施していく。

《再質問》

師岡 ①特措法に対する財政支援について。

②当事者に対する意識啓発活動について。

地域整備課長 ①防災、衛生、景観等、多岐にわたる政策課題となるので、東京都の空き家対策セミナー等説明会に出席し、その中から、今後の特措法に対する補助金等を検討していく。

少子化・若者定住化担当主幹 ②空家予備軍世帯へのリーフレット等配布も今後検討していく。また、広報やホームページ等も十分活用していく。

奥多摩町における小学校のキャリア教育について

・・・・
 (答) 今後とも、子どもたち一人ひとりが「生きる力」を身に付け、夢と希望をもって日々の学校生活を送り、様々な課題に対応しつつ社会人・職業人として自立していくことができるように、学校をはじめ、保護者や地域の皆さんと一緒に頑張ってキャリア教育を推進していく。

師岡 今後の方向性についてど

のように捉えていくか。

教育長 キャリア教育を推進するうえで学校教育の果たす役割は重要であるが、望ましい勤労観や職業観の育成は、家庭教育によるところも重要であると考えている。子どもたちが家庭の中から学ぶ機会が増えるよう、保護者への啓発活動など、学校と教育委員会が一体となって奨励していく。なお、教員のキャリア教育に係る指導力の向上については、理解・深化させる研修を実施している。

《再質問》
師岡 今後、保護者への啓発活動、学校現場での研修会や講習会がさらに必要であると考えるが。

教育課長 家庭、保護者への研修会等も実施していく。また、生涯学習の中で家庭教育講座を実施しているので、これらの講座を利用し、若い保護者を対象に、子どもたちの自己肯定感を育む

ような研修も検討していく。



原島幸次議員

町公営住宅の住環境について

・・・・
(答) 実際に居住している利用者からの生の声を聴く仕組みとして、「町営住宅利用者意向調査」などのアンケートを実施し、「今不便で困っていること」、「改修の要望」などの情報収集に努め、利用者のさらなる住環境の計画的な改善につなげていく。

原島 ①町公営住宅での問題点を町は把握しているか。

②町公営住宅での不便をしている利用者のいくつかの問題に対し、どのような改善や検討ができるか。

町長 ①平成25年度の「公営住宅等長寿命化計画」策定に際し、すべての町公営住宅を対象とし

て、1次評価として経年劣化などの調査を実施し、2次評価として安全性や居住性の評価を実施した。さらには、3次評価として維持改善か建替えかの判定を実施した。この調査の結果、全86戸の町公営住宅のうち、修繕を行い維持管理していくべき戸数が66戸、今後建替えすべき戸数が20戸という結果となっている。

②町での定期的な保守点検に加え、利用者からの通報に基づく修繕についても毎年実施しており、昨年は台所、風呂場の給湯器が老朽化による不具合を生じているとの連絡により、3戸の給湯器の交換、修繕を行うなど、延べ23戸で設備の修繕を実施したところである。

《再質問》

原島 ①草木の剪定や除草の対応状況について。

②危険性のある街灯について。

地域整備課長 ①居住者から共益費をいただいているので、で

きる範囲で職員が対応し、大規模なものについては、シルバー人材センターへ委託している。
②確認を行い、危険性のあるものについては、整備を進めていく。



宮野 亨議員

湖面利用で地域活性化を

・・・・
(答) 湖面利用については、引き続き粘り強く要望していくが、都水道局とは、水源施設の管理・保全等について、従来からの信頼関係に基づく協力関係を保持していかなくてはならないものであり、湖面利用をゴリ押しするのではなく、町の観光振興を図るうえで、「いこいの路」への「湖上横断用の吊り橋」の設置をはじめ、「湖畔周辺の拠点施設の整備促進」についても、支援をいただけるよう積極的に要望していく。

宮野 湖面利用は大きな観光資源となり、ダム周辺の地域活性化にもつながる。地方創生の基本方針が閣議決定された今、この時をチャンスと捉え、国や都に働きかけていくことが必要と考えるが。

町長 水質浄化技術や安全管理技術の問題、また、水源を依存している他県のダムも湖面解放を行っていない中では説明も難しいことから、現時点では困難であると思われる。しかしながら、東京都水道局からは、奥多摩湖への船舶等の導入が困難であるという前提のもと、これに代わる支援として、有形無形にわたり実に様々な形で当町の行財政運営に対して、多大なるご支援・ご協力をいただいている。

町独自の子育て支援の拡充を

……
(答) 今後も、町、議会そして住民皆さんが同じ目線で問題意識を共有し、町の宝である子どもたちのために、今後も充実した「子

育て支援」を推進していく。

宮野 大学生や専門学校生にも通学定期代等の助成をしていたきたい。

町長 助成をすることにより、この町に対する「郷土愛」が、これまでより一層、醸成されるのであれば、効果が期待できると思われる。今後は、「子育て支援協議会」に諮るなどして、今後の検討課題とする。



清水典子議員

……
プレミアム商品券の効果について

……
(答) 発売開始から2か月で全体の60%以上が利用されており、順調な状況であるので、しばらくは様子を見守り、有効期限が近づいたら、利用忘れがないよう「防災無線」あるいは「広報」

等でお知らせする。

清水 ①利用状況について。

②町民宿泊補助事業の予定について。

町長 ①プレミアム付商品券加盟店130店舗で8月末までに換金された商品券は、金額で2千8百5万9千円、率で約62%が利用され、地域経済活性化の一助となつている。

②本事業に賛同する旅館等を対象に、利用を希望される町民一人につき1泊の無料宿泊券を配布する。実施期間は、本年11月24日から来年3月末までを予定している。配布方法については、申請された方の自宅へ郵送し、宿泊券を受け取った町民は、利用できる施設を予約して、利用当日に施設に提出していただく。

町道坂下中央線の今後の計画について

……
(答) 今後も、住民皆さんの身近に起きる問題等については、

迅速に対応することで、「安心・安全」が確保できるよう努めていく。

清水 ①今後の計画について。
 ②砂防工事の計画について。

町長 ①周辺住民の利便性の向上のために、関係地主の方々から貴重な土地を提供いただいた経緯もあるので、同意をいただけない方々に対して、再度、近隣住民の皆さんや自治会からの支援をいただきながら交渉するとともに、懸案事項となつている「雲仙橋」の改良等も含め、住民皆さんや自治会とも協議を重ね整備を行っていく。

②棚沢728番地付近の崩壊危険箇所については、自治会からも要望が提出されており、町からは、「保安林指定」を受けた場所でもあることから、産業労働局所管の「治山事業」として整備していただくよう、東京都森林事務所に要望を上げるため、過日、現地確認を行ったところである。

議会 日誌

8月

- 3日 東京都予算編成に対する要望
実行運動
- 11日 下水道事業特別委員会
12日～13日
- 会派（奥多摩維新会）視察研修
（富山県）
- 13日 奥多摩・檜原間林道鋸山線改修
都道編入促進協議会総会
- 25日 おくてん開会式
- 28日 三か町村連絡協議会
- 30日 あきる野市制施行20周年記念
式典
- 31日 奥多摩町地域保健福祉計画
討協議会

9月

- 1日 議会運営委員会
- 5日 寿楽荘敬老感謝祭
- 8日 第3回定例会（第1日）
- 10日 第3回定例会（第2日）
総務文教常任委員会
- 11日 第3回定例会（第3日）
西多摩地区消防大会出場隊（第
2分団）激励
- 13日 グリーンウッド敬老祝賀会
小河内神社秋季例大祭

10月

- 15日 決算特別委員会（第1日）
- 16日 決算特別委員会（第2日）
- 17日 高齢者在宅サービスセンター
敬老会
- 18日 議会運営委員会
- 20日 西多摩地区消防大会
- 26日 海外派遣事業帰国報告会
- 30日 西多摩郡町村議会議員親睦会
- 1日 官公庁等連絡会議
- 2日 日本観光鍾乳洞協会総会・サミ
ット
- 3日 水川小学校運動会
- 4日 奥多摩町消防団発足六十周年
消防庁長官表彰旗受章記念祝
賀会
- 7日 戦没者合同慰霊祭
- 8日 防犯のつどい
- 12日 子ども国際交流音楽祭コンサ
ート
- 13日 西多摩地区議長会議員研修会
- 14日 西多摩地区議長会定例会議
- 14日 三か町村議会議員広域連絡協
議会広域行政検討部会
- 15日～16日 東京都町村議会議長会先進地
視察（石川県川北町）
- 18日 山ふる音楽祭
- 20日 議会だより編集委員会
秋川流域斎場組合議会定例会

- 22日 西多摩地域広域行政圏体育大
会開会式兼前夜祭
- 24日 福祉大会
- 27日 首都圏中央連絡自動車道建設
促進会議総会
- 28日 三か町村議会議員広域連絡協
議会広域行政検討部会要望活
動
- 29日 東京都道路整備事業推進大会
- 31日 第30回ふれあいまつり

町議会議員選挙

選挙告示 11月10日(火)
投票日 11月15日(日)

第4回定例会

12月11日頃から
予定しています。
詳細は、町ホームページ、
防災行政無線でお
知らせします。
皆様の傍聴をお待ち
しています。

編集後記



全国の百歳を迎えた人が5万8820人、過去最多となりました。町内でも65歳以上の方が47%を占めており、少子高齢化が進んでいます。そんな中、ノーベル生理学賞を受賞した大村氏は、現在80歳、多くの人に夢と希望を与えた明るいニュースです。第3次安倍改造内閣では「1億総活躍社会」の実現に向け、スタートしました。依存から自立へという地方自治の時代を迎え、「住民自治」を本格的にやっていく覚悟が今、問われています。国も地方自治体も財政に頼った行政は困難で、議会としても、一人ひとりに光を当て、地域の知恵や民間の力をどう引き出すかという事に取組んで参りたいと思います。

(宮野 亨)
高橋 邦男 杉村 良一
師岡 伸公 石田 芳英